

柏市自立支援協議会全体会 部会報告シート①

<p>【部会名】 相談支援部会</p>	<p>【担当】 地域生活相談センター シヤル 中道 なおみ</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 相談支援部会</p> <p>(1) 第1回：5月26日（金） 対面・リモート併用による開催</p> <p>ア 相談支援部会長変更、各種出席委員について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前相談支援部会長の人事異動に伴い、新たに後任の中道を部会長を選任した。 ・自立支援協議会全体会出席委員として後藤副部会長、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム委員として中道部会長を新たに選任した。 <p>イ 令和5年度相談支援部会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・これまで隔月開催をしていたが、他部会に倣って年3回開催に変更する。臨時で2月を候補日として予定。 <p>ウ 計画相談実務者ワーキングチームについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・構成委員が2名欠員。今後構成委員の任期等を検討している。 ・会議の目的、テーマについて委員から意見を聴取し、計画策定に関する意見の集約の場として引き続き開催する、地域に基づいて利用者のニーズを把握し、課題の深堀をして検討していく場とする、などの意見があった。委員長、事務局にて検討をしていくこととした。 <p>エ 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今年度より障害福祉サービス計画数の推移を報告いただき、部会にて意見交換を行っていく。 ・柏市の相談支援体制について実態を把握し、相談支援体制構築に向けた検討材料にするため、市内相談支援事業所へアンケート調査実施予定。現在、アンケートを配布して、回答収集を行っている。 <p>オ 今年度の主な検討課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度からの継続議題である相談支援の質について委員より意見を聴取した。相談の内容は多様であり、相談者によって緊急性、重要性の捉え方も内容も異なるため、必要なケースワークについて議論を深め、事務局にて意見を整理し、議論を重ねていくこととした。 <p>2 相談支援連絡会</p> <p>(1) 第1回：4月28日（金） 対面による開催</p> <p>ア 令和5年度柏市の相談支援体制、支給決定基準の変更点について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害福祉課より「柏市障害者相談支援ガイドライン」「令和5年度障害福祉サービス担当地区一覧」「柏市障害者総合支援法等サービス支給決定基準」について資料を基に説明を行った。相談員からの質問事項、ご意見については時間の都合、後日受付け、回答とした。 	

イ 柏市障害者相談支援ガイドラインを含む講義

- ・福祉サービス申請にあたっての流れ、申請書等の書き方ポイント、サービス等利用計画書作成のポイント、市から確認する点について資料を基に説明を行った。

ウ 新型コロナウイルス対策の変更について

- ・保健予防課より「新型コロナウイルス感染症の5類感染症への位置づけの変更に伴う対応について」資料を基に説明を行った。

【今後の活動予定】

1 相談支援部会

- (1) 第2回：9月29日（金）対面・リモート併用による開催
- (2) 第3回：12月22日（金）対面・リモート併用による開催

2 相談支援連絡会

- (1) 第2回：7月28日（金）対面・リモート併用による開催
- (2) 第3回：10月27日（金）対面・リモート併用による開催
- (3) 第4回：令和6年1月26日（金）対面・リモート併用による開催

3 計画相談実務者ワーキングチーム

- (1) 第1回：7月5日（水）対面による開催

※2回目以降は開催後に決定とする

【部会名】 暮らし部会	【担当】 社会福祉法人彩会 平山 隆
【開催報告】 1 暮らし部会 (1) 第1回：6月5日(月) 対面及びリモートによる開催 ア 柏市のグループホームについて(グループホーム等支援ワーカー) ・福祉部長、次長、障害福祉課副参事、関係リーダー、暮らし部会長、副部会長、自立支援協議会会長で行った、グループホーム等支援ワーカーについての部会の意見をお伝えし、対応の必要性について一定の理解を得た。 ・グループホーム現場責任者の意識調査結果の報告を行い、意見交換を行う。 ・グループホームを運営しようとしている会社に、利用者側のニーズや求めている支援についての思いのすり合わせができる機会があると良い。 ・グループホームに入る前に、本人が親元を離れて暮らすことに慣れている必要がある。体験の場が広がっていく必要がある。 イ 生活介護事業所、地域活動支援センターの課題感について ・人員不足が常に課題となっている。 ・障害の内容や質の範囲が広がっており、それに対応した支援を職員間で共有することが重要。 ・送迎の際、家族で対応しきれない場合、自宅内に入って対応しなければならない。どこまでの支援が必要か、判断が難しい。 ・地域活動支援センターは、手帳がない方や受給者証の交付を受けていない方等、地域で生きづらい方々にとって重要な役割を担っている現状である。	
【今後の活動予定】 1 暮らし部会 (1) 第2回：令和5年9月25日(月) 対面による開催を予定 (2) 第3回：令和6年1月15日(月) 対面による開催を予定 2 居宅支援連絡会 (1) 第1回：令和5年7月10日(月) 対面及びリモートによる開催 (2) 第2回：令和5年11月頃 対面による開催を予定 3 グループホーム等連絡会 (1) 第1回：令和5年7月25日(火) 対面及びリモートによる開催 (2) 第2回：令和5年11月頃 対面による開催を予定	

【部会名】 はたらく部会	【担当】 ビック・ハート柏 八木原 直彦
【開催報告】 1 はたらく部会 (1) 第1回：5月9日(火) WEBと対面開催 ア 令和5年度 はたらく部会について ・ 部長にビック・ハート柏の八木原氏、副部長にレクサの横田氏(福祉的就労連絡会)が継続。副部長にディーキャリアワーク柏スタジオの高野氏(一般就労連絡会)を選出。 イ 今年度の主な検討課題について (ア) 一般就労連絡会 ・ 職場定着支援の充実を図っていく。 ・ 企業向けの周知としてキックオフミーティングを行う。 ・ ジョブコーチの周知と活用について検討する。 ・ 支援者のスキルアップとしてなんでも座談会の開催。 (イ) 福祉的就労連絡会 ・ 工賃向上と社会参加の促進を目指していく。 ・ 「合同販売会の企画」「柏市版事業所ハンドブックの作成」「柏市農福連携の取組み」について、千葉県障害者就労事業振興センターとNPO法人テラス21に協力いただきながら取り組んでいく。 (ウ) 今後の法定雇用率について ・ 令和8年に障害者の雇用率が2.7%にあがることを受け、松戸公共職業安定所より資料提供。一般就労連絡会において詳細説明をしていただく予定。 2 一般就労連絡会 (1) 第1回：5月30日(火) 対面開催 ア 企業向けの周知としてキックオフミーティングの開催 ・ 今年度委員の欠員追加によりテレワーカーズ柏とディーキャリア柏オフィスにご協力いただく。 ・ 昨年度雇用率が未達成の会社が集まっていただき、障害者雇用が進んでいない理由についての相談会を行なった。小規模で行ったことで、2社求人につながり、1社求人予定。 イ 支援者のスキルアップとしてなんでも座談会の開催 ・ 経験年数にかかわらず、日常業務での困り事、支援に関する事等を自由に話し合う場。今年度は3回実施予定。 ・ 現在4事業所からスタッフ継続、新規スタッフ募集中。 ウ ジョブコーチの周知と活用 ・ 今年4月から改正後の報酬で実施。	

- ・今年度は派遣型ジョブコーチ（5事業所）の周知を行う。
- ・チラシ作成（原版済）を行い、商工会議所やハローワーク等設置だけでなく周知も行う。
- ・若手育成できる状況はないことが課題。

エ 今後の法定雇用率について

- ・松戸公共職業安定所より説明。特定短時間雇用及びトータルサポーターについて質疑応答。昨年末の法定雇用率について半数が満たしていないため、雇用指導を行うとのこと。

3 福祉的就労連絡会

(1) 第1回：5月30日（火）WEBと対面開催

ア 柏市農福連携の取組み

- ・上野公園で開催された農福連携のイベントでじゃがいも販売。わかたけ社会センターと農家が連携し、じゃがいも植え付けから収穫まで行った。麗澤高校の生徒が包装紙を作成して2日間で200個販売し評判も上々だった。
- ・農福連携の見学会を開催。千葉県農林水産部と協力し、40名近い方が見学。初めての事業所、農家も見学し農福連携が身近になったとの感想。
- ・農福連携に取り組みたい農家からの需要も高まっているので工賃向上と社会参加に役立てたい。
- ・農福連携ガイドブックについて千葉県障害者就労事業振興センターより農福連携に関しての事例等掲載しているとの案内あり。

イ 合同販売会の企画

- ・かしわ MONO づくりマルシェの開催報告。6事業所が参加。出品した商品の種類が多く、売り上げが118,620円とイベントとしては成功。今後は障害理解の推進イベントやテーマを決めて開催するなどの工夫が必要。
- ・豊四季台地域活動館について、販売会の進捗報告を行った。

ウ 柏市版事業所ハンドブックの作成（情報発信）

- ・NPO法人テラス21に協力いただき、印刷に向けてチェックをしている。
- ・名称および表紙のイラストは、商品の良さをしっかりPRできるような魅力的なものにしたい。
- ・商品をアピールするために1事業者1製品紹介してほしい。
- ・QRコードを活用し、商品や事業所を紹介できるようにYouTubeで動画を流す。
- ・生活介護事業所にも声をかけ、7か所集まった。

(今後の活動予定)

1 はたらく部会

(1) 第2回 令和5年 8月29日(火) 15時半～

(2) 第3回 令和6年 1月 9日(火) 15時～

2 一般就労連絡会

(1) 第1回 令和5年 5月30日(火) 13時半～

(2) 第2回 令和5年 9月28日(木) 13時半～

(3) 第3回 令和5年12月20日(水) 13時半～

〈なんでも座談会〉

(1) 第1回 令和5年 6月23日(金) 16時半～18時

3 福祉的就労連絡会

(1) 第1回 令和5年 5月30日(火) 15時半～17時

(2) 第2回 令和5年 9月28日(木) 15時半～17時

(3) 第3回 令和5年12月20日(水) 15時半～17時

【部会名】 こども部会	【担当】 社会福祉法人 桐友学園 新福 麻由美
【開催報告】 1 こども部会 (1) 第1回：5月31日（水）対面及びリモートによる開催 ア 柏市障害者計画策定のための追加調査（児童）結果報告書について <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年夏に障害者計画策定のためのアンケート調査において、小学生の年代における回答者が少なかったので補完する目的で実施した調査結果の報告を行う。 ・夏と今回の調査を比べてみて、特別支援学校とそれ以外の学校の違いが明確に出ていることが分かった。 ・未就学の方の並行通園が増加。並行通園と障害施設のみに通っている方についても計画は作っていただけるので、次回以降の調査では行って欲しいという意見があった。 ・障害児に対する理解を幼少の頃から進めるため、教育委員会と連携しながら福祉教育を推進したい。 イ サポートファイルの普及と活用について <ul style="list-style-type: none"> ・社会福祉法人青葉会松井氏より、法人内事業所でのサポートファイル活用の取り組みと変化を説明。 ・大人のサービスに移行する際に基礎データとして情報共有の資料となる。 ・医療的ケアが必要な重心児では通院履歴や装具も多く手書きだと難しいので、デジタルを利用できたらよい。市と一緒に検討していきたい。 ・サポートファイルの書き方も含め、繋ぐ役目として拠点や児童発達支援センターの活用の推進が必要。 2 早期支援担当者会議 (1) 第1回：6月21日（水）対面による開催 サポートファイル学齢期シートの作成及び見直し、普及への取り組みについて確認、意見交換を行う。	
【今後の活動予定】 1 こども部会 (1) 第2回：令和5年9月20日（水）対面による開催 (2) 第3回：令和6年1月10日（水）対面による開催 2 事業担当者会議 (1) 第1回：令和5年 7月 3日（月）リモートによる開催 (2) 第2回：令和5年11月27日（月）対面又はリモートによる開催 3 児童発達支援事業所連絡会 (1) 第1回：令和5年7月10日（月）対面及びリモートによる開催	

<p>【部会名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会 柏市権利擁護ネットワーク会議における 障害者に関する専門部会</p>	<p>【担当】 障害福祉課 石月・鈴木</p>
<p>【開催報告】</p> <p>1 柏市権利擁護ネットワーク会議（全体会）</p> <p>(1) 第1回：5月31日（水）対面及びWEBによる開催</p> <p>ア 令和4年度権利擁護事業の実績報告について （障害，高齢，成年後見制度に関すること）</p> <p>イ 令和5年度権利擁護事業の計画について （障害，高齢，成年後見制度に関すること）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市民後見人養成研修について人材育成の重要性に関する意見が出た ・今後，後見人不足が見込まれるため人材育成の在り方について検討していく <p>ウ 柏市成年後見人等報酬費助成制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象要件の緩和について説明し，更に対象要件の拡大に向けての意見が出た ・引き続き対象要件の拡大に向け，調査・研究をしていく <p>2 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会</p> <p>(1) 第1回：6月9日（金）対面及びWEBによる開催</p> <p>ア 第1部</p> <p>(ア) 令和4年度事業報告について</p> <p>(イ) 令和5年度事業計画について</p> <p>(ウ) 障害者差別解消に向けた取組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和3年障害者差別解消法の改正により，令和6年4月より事業者による障害のある人への合理的配慮の提供が義務化されることについて周知した <p>(エ) 次期ノーマライゼーションかしわプランについて</p> <p>イ 第2部</p> <p>(ア) 令和4年度障害者虐待通報・届出の傾向について</p> <p>【その他】</p> <p>1 東葛市町村虐待防止担当者連絡会について</p> <p>2 柏市障害者虐待防止サポートチーム事業（モデル試行）について</p>	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>1 柏市障害者差別解消支援地域協議会及び柏市権利擁護ネットワーク会議における障害者に関する専門部会</p> <p>第2回：2月9日（金）対面及びWEBによる開催</p> <p>2 柏市障害者権利擁護研修会</p> <p>第1回：7月21日（金）「障害者虐待防止について～入門編～」WEBによる開催</p>	

【部会名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会	【担当】 社会福祉法人ぶるーむ 後藤
【開催報告】 1 全体会 今年度未開催 2 コアメンバー会議 今年度未開催 【その他】 ・2023年6月19日 保健所地域保健課訪問 連絡会の取り組み及び医療的ケアコーディネーターの配置状況、医療的ケアが必要な新生児の支援に係る保健所との連携等について情報を共有した。今後必要に応じ近隣のNICUを持つ病院等にも同様のアプローチを行う予定。 ・成人ワーキング 「特定行為研修」修了者向けのフォローアップ研修を企画中。 ⇒研修内容について受講を想定する事業所職員向けにアンケート実施を準備中。 ・児童ワーキング 今年度未開催	
【今後の活動予定】 1 全体会 (1) 第1回：7月27日(木) 対面による開催 2 コアメンバー会議 (1) 第1回：7月14日(金) 対面による開催	

【部会名】 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業	【担当】 たんぽぽセンター 上野 (作成：保健予防課 澤畑)
【開催報告】 1 コア会議 第1回：4月26日(水) 対面による開催 (1) ノーマライゼーションかしわプランの説明(障害福祉課：天玉氏より) 現在のプランからの変更点の説明。「にも包括」は各柱に分散される。 (2) 令和5年度事業について(主な意見は、下記のとおり) ・今年度は、グループワークではなく実務者委員全体で課題に取り組む。 ・病院内での普及啓発を目的として、院内で実務者会議を開催する。 ・実務者委員以外や市民に対しての参画等については、今後検討していく。 2 実務者会議 第1回：5月24日(水) 対面による開催 ア 令和4年度までの事業活動について イ 事業の目的・意義 ウ 令和5年度事業の進め方について エ グループワーク「精神障害者支援の実践から見える課題とにも包括の取り組みについて」(主な意見は、下記のとおり) ・医療と福祉の連携・相互理解、各機関の役割理解が必要 ・切れ目のない支援への取り組み ・患者の高齢化、身体合併症等他分野との効果的な連携 ・研修会や職員の支援の質の向上に向けた取り組みが必要 ・精神障害者への対応の難しさがある、マンパワー不足がある 等	
【今後の活動予定】 1 コア会議 (1) 第2回：6月28日(水) 対面による開催 (2) 第3回：8月23日(水) 対面による開催 2 実務者会議 (1) 第2回：7月26日(水) 対面による開催 (2) 第3回：9月27日(水) 対面による開催	

【部会名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会	【担当】 障害福祉課 萩原
【開催報告】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 (1) 第1回：6月23日（金）対面による開催 ア 令和4年度柏市相談支援機能強化事業等評価について ・地域生活支援拠点の5つの機能及び基幹相談支援センターの役割項目についての評価報告を行ったところ、今後より一層のサービス向上に向けてどのようにしていくべきか等の改善点やアドバイス等も評価に挙げていただきたいという意見があった。 イ 令和5年度各拠点の活動計画について ・各拠点代表者から令和5年度における活動計画について報告していただき、意見交換を行った。どの拠点においても新規相談件数の増加に伴い、計画の立案等の対応をせざるを得ない状況もあるが、全てを拠点では賄いきれない為、地域の相談支援事業所との顔の見える関係づくり及び多職種含めた連携体制の強化が課題との事だった。 ウ その他 ・緊急時の受入れについて意見交換を行ったところ、障害者手帳や区分もなく、持ち金のない方は償還払い扱いで、後から支給が下りるかも不明慮な中、受入れをするか、持ち金のある方であれば、実費で受入れをしている状況で、拠点が安心して緊急時の短期入所を受入れできない。また万が一何かあった場合の保険も効かないという問題も絡んでくる等の懸念があるとの事だった。 ・特例介護給付費について、制度改正がされ現在は償還払いではなく、代理受領も可能となってきている為、今後の緊急時の受入れの際に、特例介護給付費をもって対応していけるか等を検討を進める方針とした。	
【今後の活動予定】 1 柏市地域生活支援拠点運営協議会 令和5年度は、年2回の開催予定 次回開催日時は、令和6年1月頃を予定	